

HULFT Square新機能リリース説明会

2024年6月 HULFT Squareリリース(No.2024.1) リリース内容・機能の説明について

2024.1 リリース機能 (2024年6月2日 リリース済)

新機能

ネイティブ アプリケーション

- SFTPサービス

アプリケーションへの
イベント対応追加

改善機能

HULFT Transfer の プロファイル対応

- 複数ファイルアップロード
- ファイルサイズ拡大

ストレージ改善

コネクター強化

- Google BigQueryコネクター

ログ改善

- アプリケーション監査ログ対応
- ストレージ操作ログ

HULFT Square アップデート 2024.1

ネイティブアプリケーション ・SFTPサービス

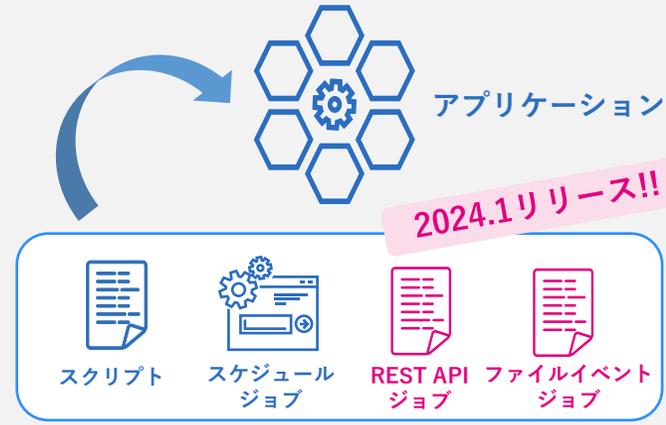
アプリケーション機能について

- スクリプトやジョブといった業務処理をパッケージ化することができます。
作成した業務処理を共有・再利用したり、バックアップとして活用できます。

アプリケーションの作成

アプリケーションの公開

業務処理をパッケージ化



お客様の業務用途や組織形態に合わせた
アプリケーション活用によるデータ連携基盤

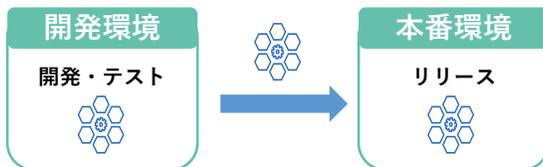
バックアップ
共有
再利用

- ✓ 共通した業務処理をアプリケーションとして作成し、組織内外で共有
- ✓ 共有による再利用で開発 / 運用の標準化
- ✓ データ連携処理のバックアップ

ユースケース

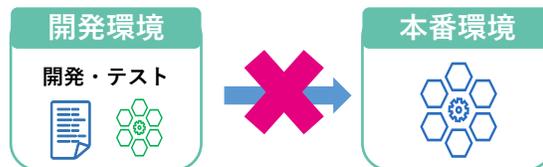
●本番環境リリース

開発・テストが完了したプロジェクトを
素早く本番環境にリリースできる



●システムの信頼性

開発中の変更内容は本番環境に影響を与えない



●柔軟な環境利用

本番環境で問題が発生した場合、
開発環境に配布し、問題の調査や修正ができる



アプリケーション機能について

2023.3リリース（2023年9月）

- アプリケーション機能の提供開始
- 弊社が作成したアプリケーションが「App Square」に提供され、お客様がご自身の環境にインストールすることが可能に
 - Audit Logs アプリケーション



2023.4リリース（2024年1月）

- 組織内アプリケーション機能の追加
 - お客様がスクリプトを作成し、社内向けへテンプレートを提供することが可能に
 - プロジェクトのコピーと再利用
 - プロジェクトの一定時点のバックアップ
 - テンプレートとして組織内ユーザーに配布
- ※「App Square」へのアップロードは弊社のみ可能

Native Applicationとは

- 「App Square」に提供されるアプリケーションとして、
ネイティブアプリケーションと呼ばれるものが加わりました



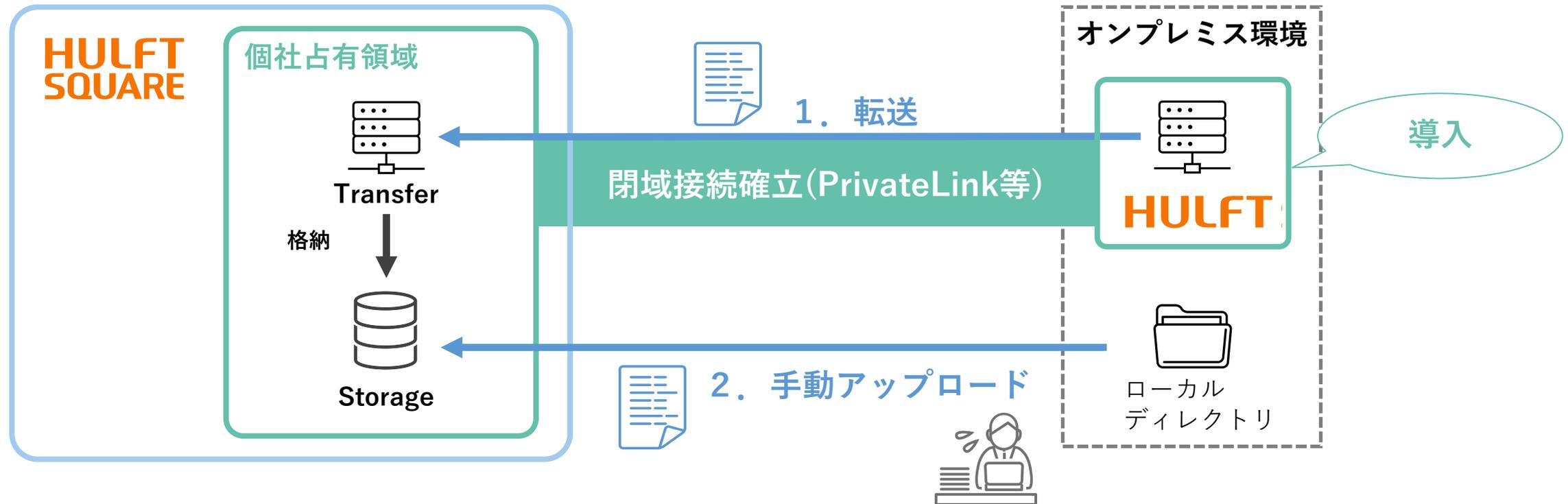
※ 同梱スクリプトのカスタマイズは不可

ファイル転送の課題

オンプレミスからHULFT Squareへのファイルアップロード方法は**2種類**

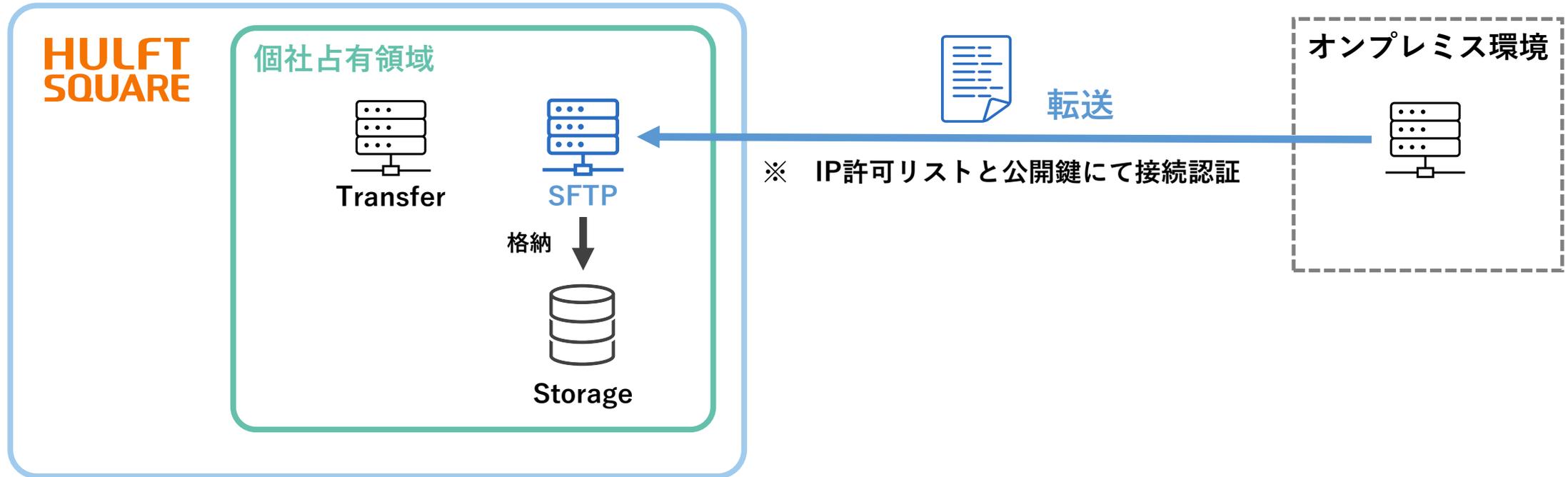
1. Transfer機能で転送 … HULFTの導入+閉域接続の確立が必要
2. ブラウザでファイルをアップロード … 手動でのアップロードのみ

⇒比較的容易に、HULFT Square側にファイル転送ができる手段が求められていた



SFTPサービス(Native Application)とは

HULFT Square内にSFTPサーバーを作成することができ、
 ファイル転送方法の一つとして活用ができます。※「FTPサービス」のアドオン契約が別途必要になります
 ⇒IP制限と鍵交換の設定で外部からのファイル転送を実現



SFTPサービスの利用手順

1. 準備
2. SFTPサービスの起動
3. SFTPサービスに接続可能な外部ユーザーを追加
4. モニタリングについて

SFTPサービス稼働までの流れ

1. 準備

HULFT SQUARE

- SFTPサービスのルートディレクトリに割り当てる、ストレージの階層を確認
- AppSquareからアプリケーション「SFTPサービス」をインストール
- ポリシーのアタッチ

HULFT Square外での準備

- アクセスを許可するIPアドレスの確認
- OpenSSHでRSA秘密鍵および公開鍵の作成
- SFTPサーバーにアクセスする環境（外部アプリケーションなど）の準備

SFTPサービス稼働までの流れ

- FTPサービスアドオン契約後、App Squareから「SFTPサービス」をインストールします

App Square

< 戻る

SFTPサービス

SFTP

バージョン 1.0.1

リリース日 Jun 14, 2024 16:27:18

発行者 Saison Technology Co.,Ltd.

Native Application Module

インストール アドオンの購入が必要です

↑ **インストールをクリック**
※FTPサービスが未契約の場合、注意文書が表示されインストールできません
契約の際は担当営業へご連絡ください

SFTPサービス稼働までの流れ

- 「SFTPサービス」のインストール後、SFTPポリシーの設定を行います
SFTPサービスの管理者には「SFTPServiceFullAccess」を割り当ててください

定義済みのポリシー			権限	説明
SFTPService FullAccess	SFTPService EditAccess	SFTPService ReadAccess	ViewSFTPService	割り当てられたSFTPサービスのリストへの読み取り専用アクセス。 詳細情報を参照することはできません。
			ListSFTPService	割り当てられたSFTPサービスの詳細情報への読み取り専用アクセス。
		EditSFTPService	SFTPサービスを設定する権限。	
			SFTPService AdminAccess	組織内のすべてのSFTPサービスへの管理アクセス。
			ViewSFTP ServiceEvents	SFTPサービス履歴への読み取り専用アクセス。 割り当てられたサービスのレコードのみを表示できます。

詳細はHULFT Square Documentation > 「ポリシーと権限の一覧」を参照してください

SFTPサービス稼働までの流れ

2. SFTPサービスの起動

- i. [メインメニュー] > [サービス] > [SFTP サービス] を選択します
- ii. [SFTPサービス] > [追加]を選択します

HULFT SQUARE

サービス > **SFTP サービス**

+ 追加

ステータス	名前	CPU	メモリー	スケールビリティ	割り当てるグループ	作成者
▶	[アイコン]	1	2G	1	[アイコン]	[アイコン]
▶	[アイコン]	1	2G	1	[アイコン]	[アイコン]
▶	[アイコン]	1	2G	1	[アイコン]	[アイコン]
▶	[アイコン]	1	2G	1	[アイコン]	[アイコン]

1 / 1

SFTPサービス稼働までの流れ

2. SFTPサービスの起動

iii. 手順[全般][Parameters]の各項目値を設定します

サービス >
SFTP サービス > Add New

全般 戻る

Parameters

サマリー

名前*

説明

CPU

メモリー

スケラビリティ

割り当てるグループ*

キャンセル 次へ

全般 戻る

Parameters

サマリー

ポート番号*

ルートディレクトリー* Browse

IP Allowlist

! アクセスを許可したい1つ以上のIPアドレスを指定することができます。また、CIDR表記でIPアドレスの範囲を指定することも可能です。例: 52.33.21.0/22

キャンセル 次へ

SFTPサービス稼働までの流れ

2. SFTPサービスの起動

- iv. [サマリー]を確認し、問題がなければ完了を選択します
- v. 約数分、SFTPサーバーが起動するのを待ちます

サマリー

以下の設定で作成します。

名前	SFTP_Server_1
説明	
CPU	1
メモリー	2G
スケールビリティ	1
割り当てるグループ	
ポート番号	22
ルートディレクトリー	
IP Allowlist	

キャンセル 完了

SFTPサービス稼働までの流れ

3. SFTPサービスに接続可能な外部ユーザーを追加

- i. 起動しているSFTPサービスのアクションメニューから[情報]を確認します
- ii. [External SFTP Users]のユーザー数が表示されているリンクを選択します

The screenshot shows the HULFT SQUARE interface. On the left is a navigation menu with categories like 'アプリケーション', 'サービス', 'HULFT INTEGRATE', 'HULFT TRANSFER', 'APIマネジメント', and 'ジョブ'. The main area displays details for an 'SFTP サービス'. The 'External SFTP Users' link at the bottom is highlighted in blue text and underlined. A callout box points to this link with the instruction '青文字のリンクをクリック ↑'.

サービス	ステータス	名前	説明	CPU	メモリー	スケールバリエーション	割り当てるグループ	作成者	実行者	作成日時	更新日時	Application Unique Parameters	エンドポイント	ポート番号	ルートディレクトリー	IP Allowlist	External SFTP Users
SFTP サービス	▶			1	2G	1				Jun 3, 2024 9:05:31	Jun 14, 2024 9:47:47						4 Users

SFTPサービス稼働までの流れ

3. SFTPサービスに接続可能な外部ユーザーを追加

iii. [SFTP サービス] > [SFTP サービス名] > [外部ユーザー]ページで追加を選択します

サービス > SFTP サービス > 外部ユーザー

+ 追加

名前	作成者	変更者	作成日時	更新日時
			Jun 3, 2024 9:06:17	Jun 4, 2024 16:09:39
			Jun 13, 2024 8:47:36	Jun 13, 2024 8:47:36
			Jun 13, 2024 12:56:32	Jun 13, 2024 12:56:32
			Jun 14, 2024 8:55:47	Jun 14, 2024 10:01:41

1 / 1

1 - 4 of 4

SFTPサービス稼働までの流れ

3. SFTPサービスに接続可能な外部ユーザーを追加

- iv. [全般]で各項目を設定し、[次へ]を選択
- v. [サマリー]で設定が正しいことを確認し、完了を選択します

サービス >
SFTP サービス > 外部ユーザー > Add New

全般

戻る

サマリー

名前 *

名前 は必須です

Authentication *

Key Authentication

Authorized Keys *

+ キーを追加

キャンセル 次へ

←[キーを追加]を選択し、
OpenSSHで予め作成したRSA公開鍵を
入力します。

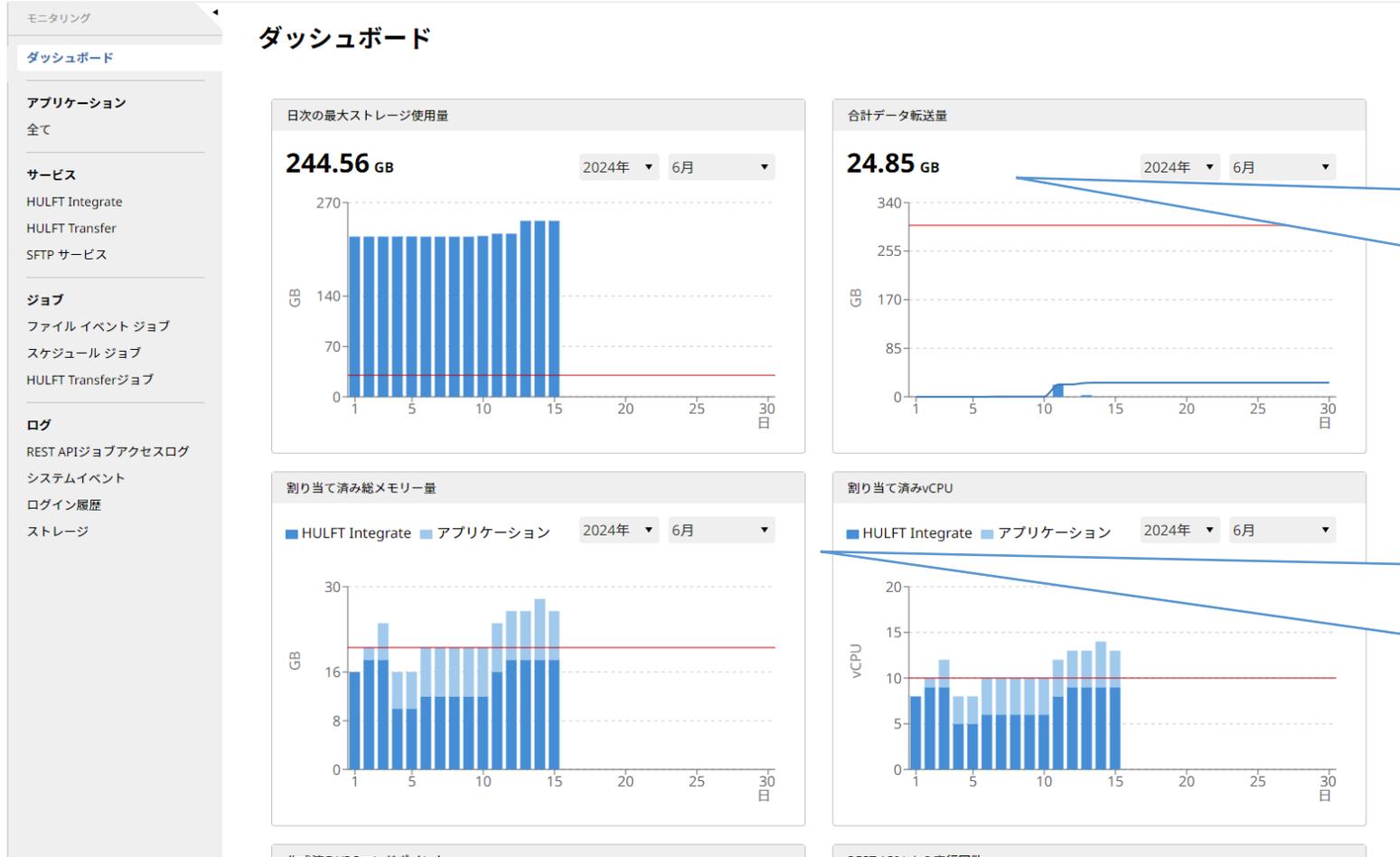
SFTPサービス稼働までの流れ

外部からSFTPサービスへの接続

- 作成したSFTPサービスのエンドポイント名とポート番号を、アクセスに使用するアプリケーションなどの環境に入力します

Application Unique Parameters	
Endpoint	ap-northeast-1.amazonaws.com
Port	8822
Root Directory	SFTP_test
IP Allowlist	93/32 /32
External SFTP Users	1 Users

ダッシュボードについて



合計データ転送量

SFTPサービスでのデータ転送も含まれて表示されます

割り当て済み総メモリー量 割り当て済みvCPU

ネイティブアプリケーションの使用量が色分けされて表示されます

合算後のメモリー/CPUの使用量によってご請求内容を決定させて頂くため、
ダッシュボードの画面では合算した量を表示しております

SFTPサービスのログについて

- 「モニタリング」 > 「サービス」 > 「SFTPサービス」 から、対象のSFTPサービスのログを確認することができます

The screenshot displays the HULFT SQUARE monitoring dashboard. The left sidebar contains navigation options: Monitoring, Dashboard, Applications, Services, and Jobs. The 'Services' section is expanded to show 'SFTP サービス'. The main content area displays the logs for 'SFTP サービス > SFTP_1'. The logs show various SFTP operations such as receiving client versions, creating directories, opening sessions, and sending status messages.

HULFT SQUARE

サービス >
SFTP サービス > SFTP_1

```

Jun 20 08:01:41 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: received client version 3
Jun 20 08:01:41 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: realpath "/"
Jun 20 08:01:47 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: mkdir name "/data/\346\227\245\346\234\254\350\252\236" mode 0777
Jun 20 08:01:49 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: opendir "/"data"
Jun 20 08:01:53 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: closedir "/"data"
Jun 20 08:03:17 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: realpath "/data/\346\227\245\346\234\254\350\252\236"
Jun 20 08:03:18 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: sent status Failure
Jun 20 08:03:21 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1362]: session closed for local user [REDACTED] from [10.0.71.18]
Jun 20 08:03:27 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1808]: session opened for local user [REDACTED] from [10.0.71.61]
Jun 20 08:03:27 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1808]: received client version 3
Jun 20 08:03:27 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1808]: realpath "/"
Jun 20 08:03:29 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1808]: opendir "/"data"
Jun 20 08:03:33 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1808]: closedir "/"data"
Jun 20 08:03:38 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:bd5c7c54-b6mpn internal-sftp[1808]: session closed for local user [REDACTED] 0.71.61]
Jun 28 01:59:14 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: session opened for local user [REDACTED] from [10.0.71.18]
Jun 28 01:59:14 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: received client version 6
Jun 28 01:59:14 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: realpath "/"data"
Jun 28 01:59:14 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: lstat name "/"data"
Jun 28 01:59:15 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: opendir "/"data"
Jun 28 01:59:17 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: closedir "/"data"
Jun 28 01:59:26 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: lstat name "[REDACTED]"
Jun 28 01:59:26 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: sent status No such file
Jun 28 01:59:26 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: lstat name "[REDACTED]"
Jun 28 01:59:26 n1c650503-41a3-4766-9395-ad471159349c:69294d0cc7-w5knn internal-sftp[965]: sent status No such file
  
```

【appendix】SFTPサービス 利用可能コマンド一覧

コマンド一覧	実行コマンド	2024.1 リリース対応
ファイル一覧表示/list	ls	○
ディレクトリの切り替え/change directory	cd	○
ダウンロード(単一)/Download file (single)	get remote-file	○
ダウンロード(複数)/Download file (multi)	get remote-file	○
アップロード(単一)/ Upload (single)	put local-file	○
アップロード(複数)/ Upload (multi)	put local-file	○
現在の作業ディレクトリ /pwd	pwd	○
ディレクトリの作成 / Create Dir	mkdir	○
ディレクトリの削除 / Delete Dir	rmdir	○
ファイルの削除(単一)/ Delete file (single)	rm	○
ファイルの削除(複数)/Delete file (multi)	rm	○
リネーム / move	rename	—

HULFT Square アップデート 2024.1

HULFT Transfer のプロファイル対応

2024.1 リリース機能（2024年6月2日 リリース済）

新機能

ネイティブ
アプリケーション

- SFTPサービス

アプリケーションへの
イベント対応追加

改善機能

HULFT Transfer の
プロファイル対応

- 複数ファイルアップロード
- ファイルサイズ拡大

ストレージ改善

コネクター強化

- Google BigQueryコネクター

ログ改善

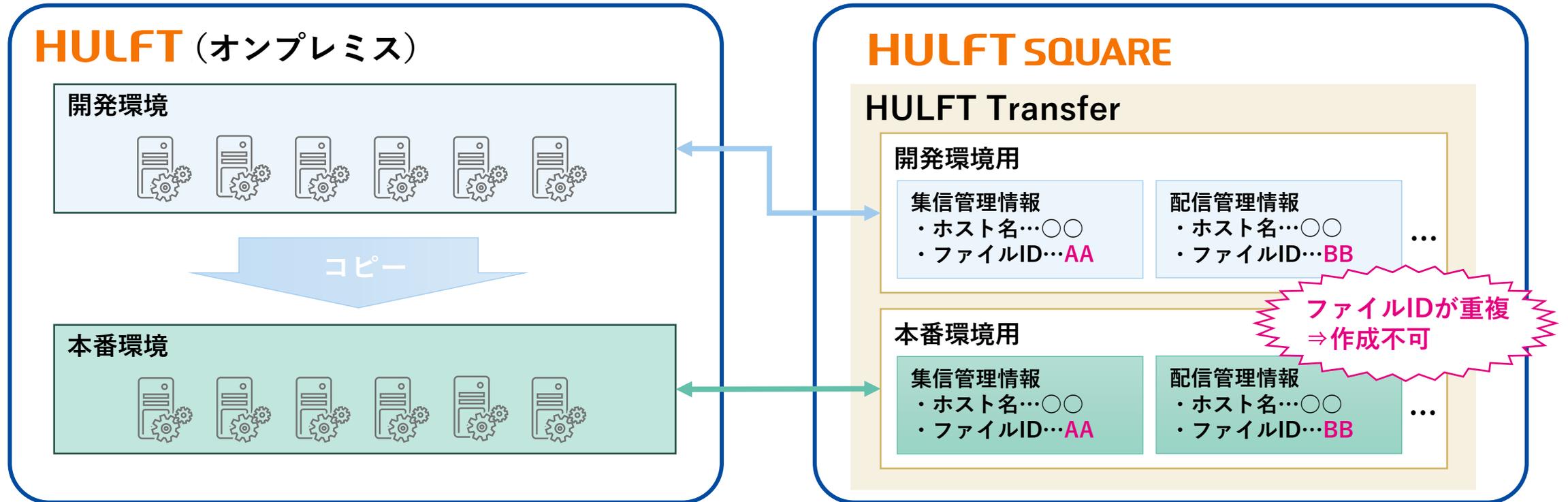
- アプリケーション監査ログ対応
- ストレージ操作ログ

HULFT Square Transferの課題

● HULFT Squareでの課題

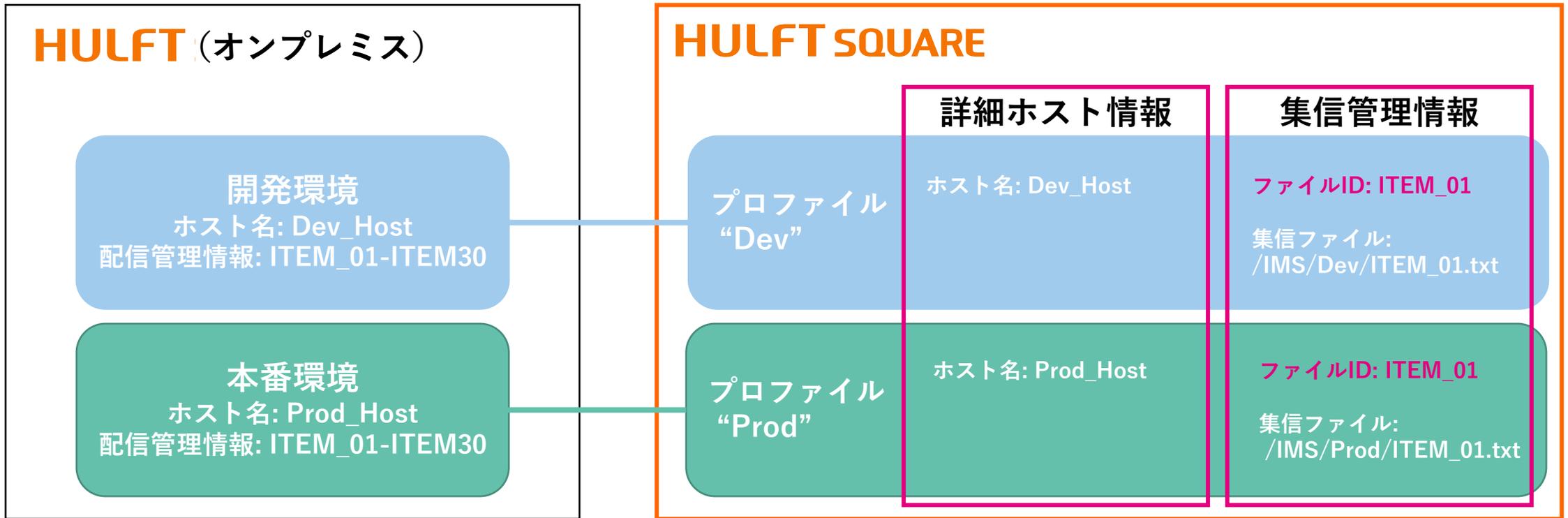
TransferはファイルIDで一意的な設定

⇒ 開発環境で作成したセットを本番環境へそのまま持っていくことができず、
多数のファイル転送管理情報の作成が必要だった



HULFT Transfer のプロファイル対応

- 2024.1リリース：Transferプロファイル対応
⇒ 同一の転送設定で対向ホスト名と集配信ファイルパスを切り替えられるようになります



Point

一意なファイルIDや管理情報などを実行環境別で切り替えることで、開発工程に合わせた柔軟な更新や検証、また安全な環境分離が可能になります

HULFT Transfer のプロフィール対応

- 集信管理情報,配信管理情報,詳細ホスト情報の編集画面で、プロフィールの設定が追加されます
※既存ジョブは、自動的にプロフィールに紐づけられます

HULFT SQUARE

メイン
ワークスペース
未選択

HULFT TRANSFER >
集信管理情報 > 新規追加

全般 戻る

プロフィール

設定

サマリー

プロフィール * Select...

キャンセル 次へ

❗ プロファイルとは、Integrateサービスを実行する環境ごとにスクリプトから参照される接続先などの設定を分離するための機能です。コネクション、変数、カレンダー、集信管理情報、配信管理情報、詳細ホスト情報の情報をプロフィールに紐づけることで、それらの設定値をスクリプトを編集することなく切り替えることができます。

HULFT Square アップデート 2024.1

他 リリース機能

2024.1 リリース機能（2024年6月2日 リリース済）

新機能

ネイティブ
アプリケーション

- SFTPサービス

アプリケーションの
トリガー条件の拡張

改善機能

HULFT Transfer の
プロファイル対応

コネクター強化

- Google BigQueryコネクター

ストレージ改善

- 複数ファイルアップロード
- ファイルサイズ拡大

ログ改善

- アプリケーション監査ログ対応
- ストレージ操作ログ

アプリケーションのトリガー条件の拡張

1. アプリケーションの新規作成時に、アプリケーションを起動する条件を複数指定できるようになりました。
2. REST APIジョブやファイルイベントジョブをトリガー条件とするアプリケーションの作成が可能になりました。

アプリケーション >
全て > 新規追加

全般 戻る

Trigger Conditions

同梱スクリプト

Test

サマリー

Trigger Conditions

Scheduler	Trigger Name	Script	Version	-
File Event	Trigger Name	Script	Version	-

+ Add Trigger

キャンセル 次へ

ジョブ >
REST APIジョブ > API Project

ステータス ▶ Active

ワークスペース 📁

APIプロジェクト API Project

APIプロジェクトバージョン 2

依存関係 依存関係

プロファイル 🔍 Default

説明

🔌 ジョブを無効化

+ アプリケーションの新規作成

🗑️ 削除

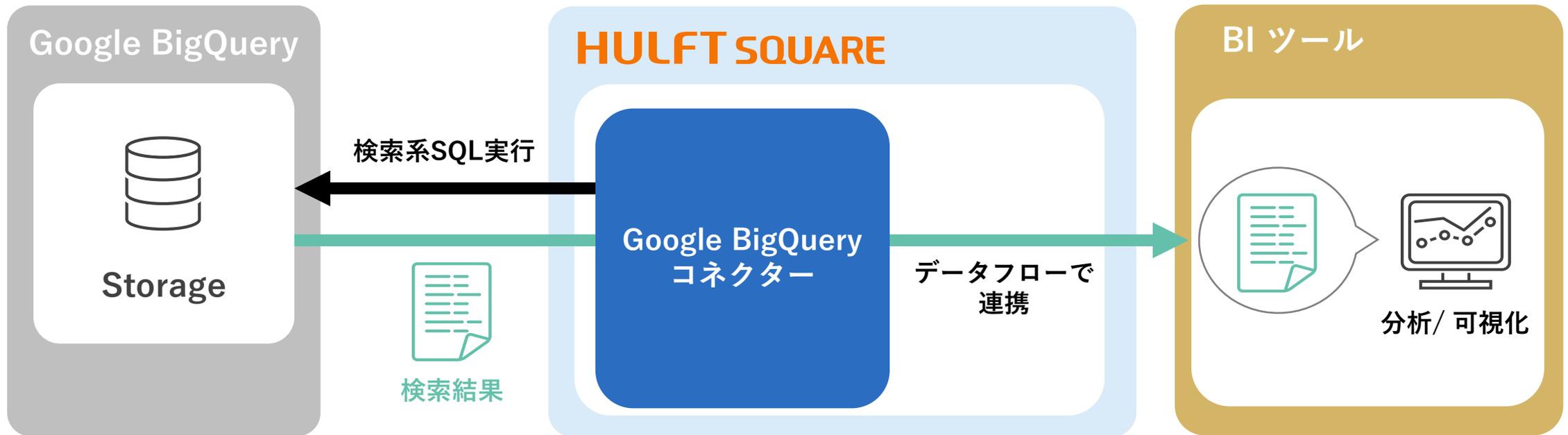
Point

より広範囲な用途や条件で、可搬性あるアプリケーションを用いたデータ連携の自動化と業務効率化を実現します。

Google BigQueryコネクターの機能追加

Google BigQueryコネクター > 検索系SQL実行処理

⇒ 検索結果をテーブルモデル型の出力データとして取得し、データフローへ直接出力することを可能にするオプション機能を追加しました



後続処理へのデータ連携機能が改善され、
業務用途に応じたデータの分析や可視化などのデータ活用を促進します

ストレージ改善

ストレージ > ファイルをアップロード

- ローカルからアップロードするファイルを一度に複数選択できるようにしました
- 5GBを超えるファイルがアップロード可能になりました

The image shows two screenshots of the HULFT SQUARE interface. The left screenshot shows the 'Upload Files' button highlighted in pink, with a file explorer window open showing five files selected. The right screenshot shows the 'Upload Files' button highlighted in blue, and a table of files with their names, creators, and modifiers.

ファイル名	作成者	変更者
sample1.txt	TT Takuro Tanaka	TT Takuro T
sample2.txt	TT Takuro Tanaka	TT Takuro T
sample3.txt	TT Takuro Tanaka	TT Takuro T
sample4.txt	TT Takuro Tanaka	TT Takuro T
sample5.txt	TT Takuro Tanaka	TT Takuro T

ログ改善

- 監査ログとして記録されるログの種類の変換
 - アプリケーションの実行履歴
 - ストレージの操作履歴
- ユーザーがUIを通して操作するストレージの操作履歴を確認できる画面を追加
※スクリプト、ジョブ、アプリケーションによるストレージ操作は対象外となります

日付	実行ユーザー	操作	詳細
Jun 24, 2024 10:54:17	[ユーザー名]	Upload File	Upload file [ファイル名]
Jun 24, 2024 10:54:06	[ユーザー名]	Delete File	Delete file [ファイル名]
Jun 24, 2024 10:33:26	[ユーザー名]	Upload File	Upload file [ファイル名]
Jun 24, 2024 10:33:18	[ユーザー名]	Upload File	Upload file [ファイル名]
Jun 24, 2024 10:33:06	[ユーザー名]	Delete File	Delete file [ファイル名]
Jun 24, 2024 10:33:02	[ユーザー名]	Delete File	Delete file [ファイル名]
Jun 24, 2024 9:57:23	[ユーザー名]	Upload File	Upload file [ファイル名]



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。